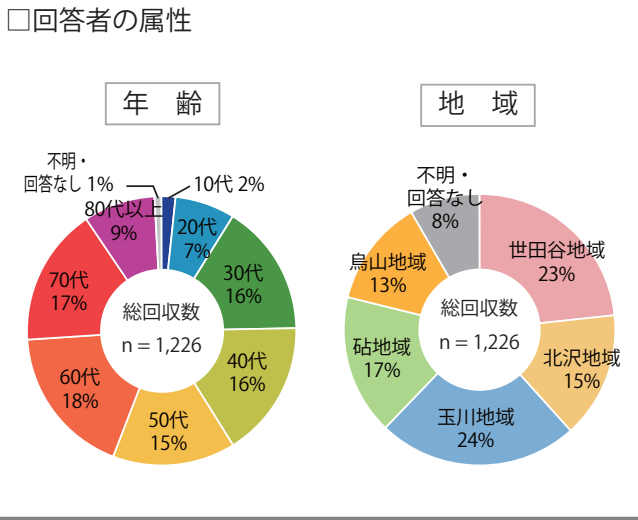


せたがや道づくりプラン策定にともなう区民アンケート結果報告書【概要】

調査の目的
 区民の道路に関する実感、区の道路整備の進め方に対する考えなどを把握し、「道づくりプラン」に反映することを目的として実施。

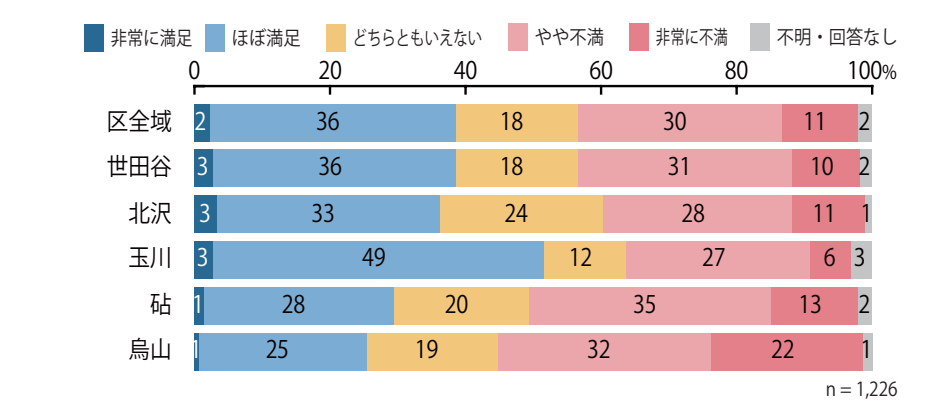
調査方法
 ・16歳以上の区民（外国人を除く）4,000名を無作為に抽出し、郵送による配布、回収。
 ・発送日：7月8日
 ・回収期限：7月20日 ※7月26日までに回収した分を集計

回収結果
 回収数 1,226通（回収率 31%）
 世田谷地域 284通（26%） 北沢地域 184通（28%）
 玉川地域 292通（30%） 砧地域 206通（29%）
 烏山地域 157通（30%） 不明 103通



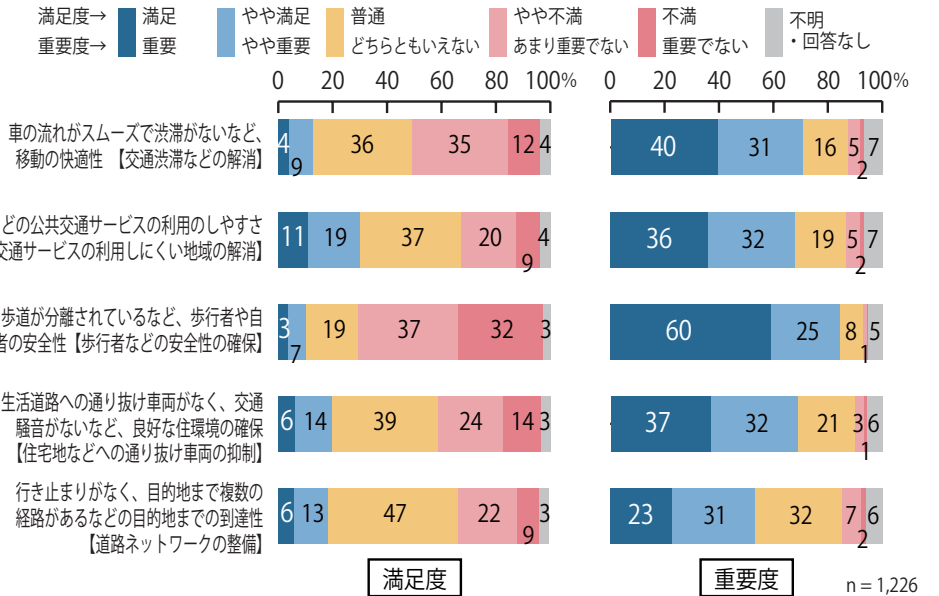
世田谷区の道路について

日常的に利用する道路に対して、4割以上の区民が不満を感じている。特に、都市計画道路などの整備率が低く、公共交通不便地域が多く残る砧地域、烏山地域で割合が高い。

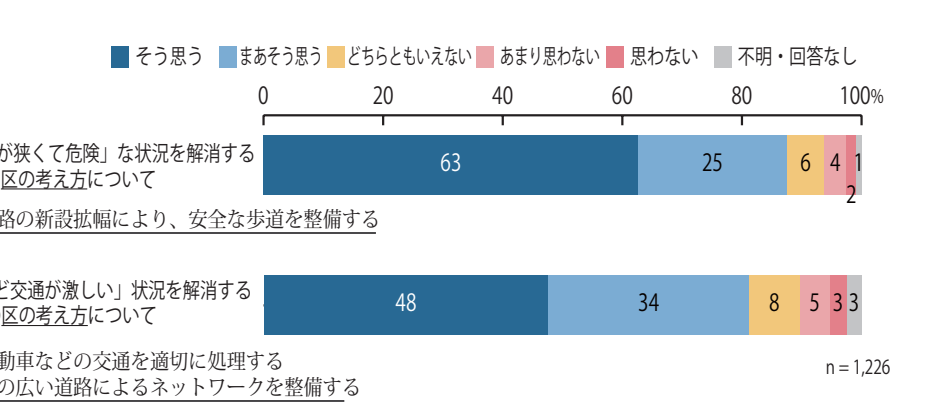


道路に関わる日常生活への影響

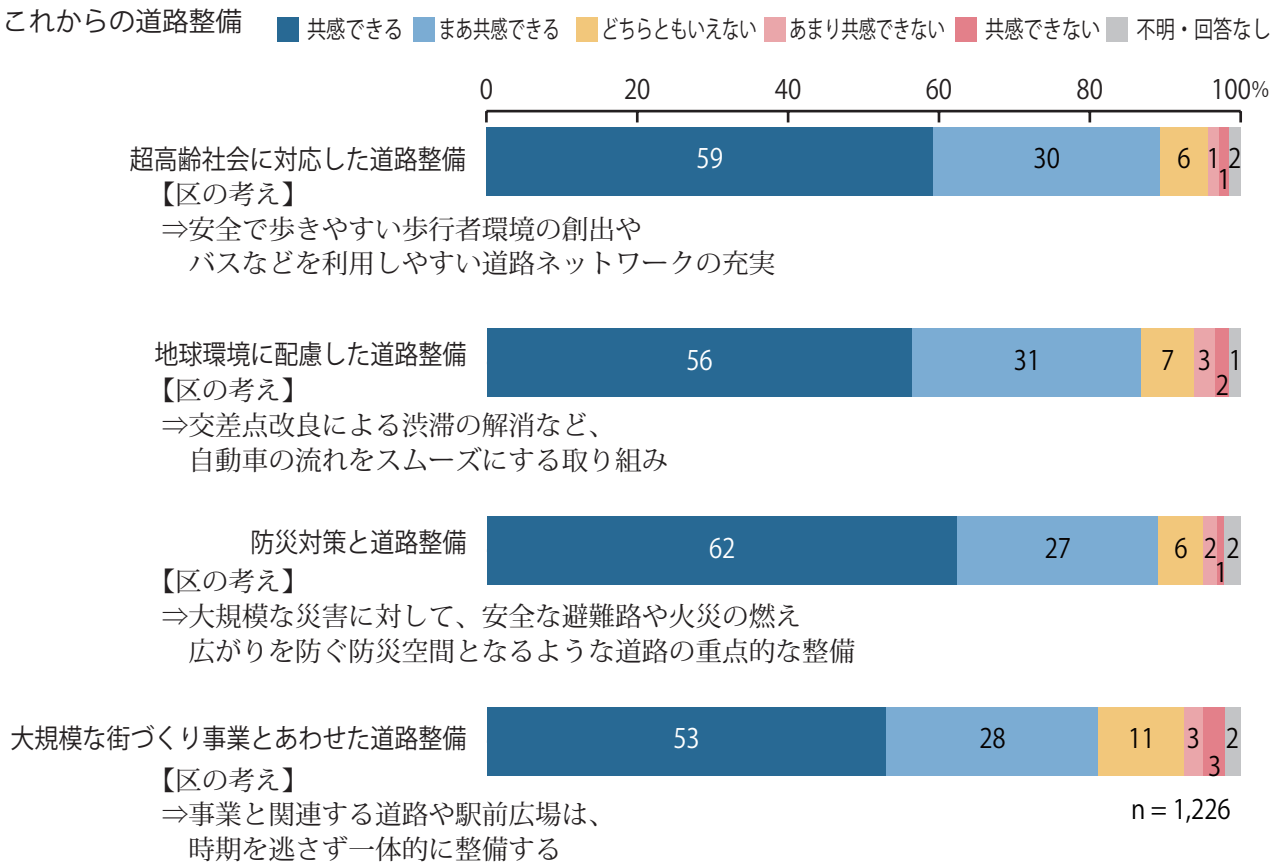
プランで道路整備の課題とした項目は、多くの区民が重要と認識しており、区民の考えと一致している。特に「歩行者などの安全性向上」に関しては、8割以上が重要としている。



区民意識調査の困りごとである「道路が狭くて危険」、「交通が激しい」に対して「新設拡幅による歩道の整備」、「道路ネットワークの整備」を進めるといふ区民の考えは、8割以上の区民から理解を得ている。

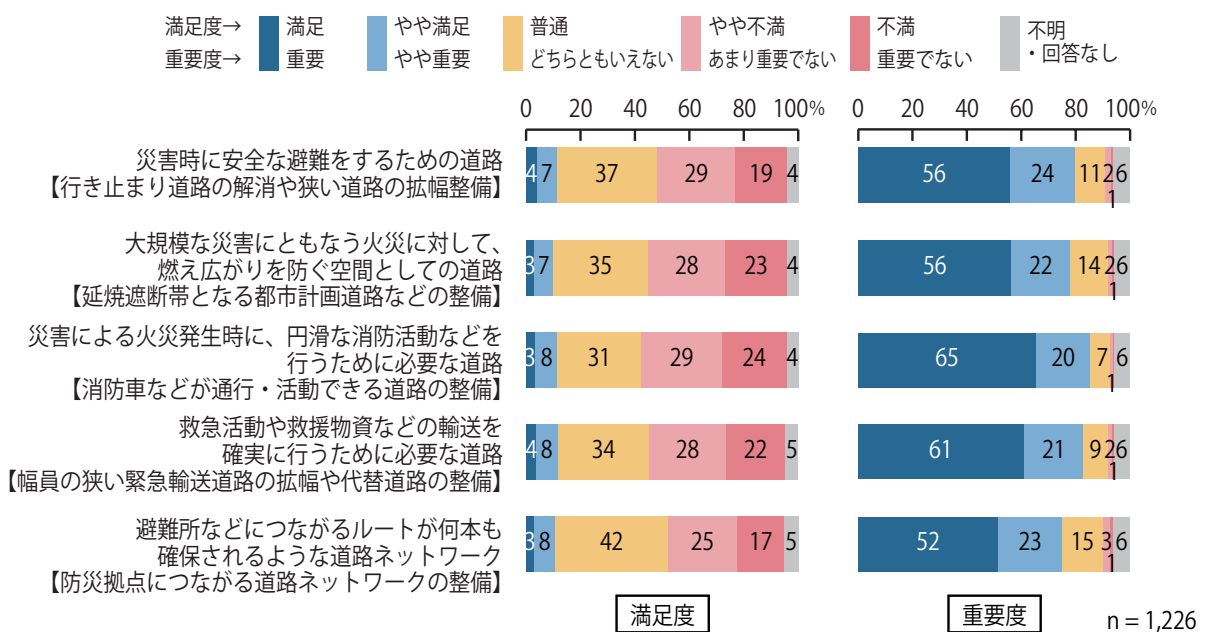


■ これからの道路整備



全ての項目において、共感度は8割以上であり、プランに示す道路整備の目標は多くの区民の意識と一致している。

■ 防災性の向上に向けた道路整備の取り組みについて



全ての項目において、満足度は低く、整備の重要度は高いという結果になった。道路が不足していることによる災害への脆弱性、防災性の向上に資する道路整備の必要性については、多くの区民の意識と区の考えは一致している。